

2011年

2-7-2011

**B3**  $\triangle ABC$  において  $AB=3$ ,  $AC=3\sqrt{3}$ ,  $\cos A = -\frac{\sqrt{3}}{3}$  である。また、点  $D$  は辺  $BC$  上

にあり、 $AD = \sqrt{3} BD$  を満たしている。

- (1) 辺  $BC$  の長さを求めよ。
  - (2) 線分  $BD$  の長さを求めよ。
  - (3)  $\triangle ABC$  の外接円の中心を  $O$  とする。点  $O$  を通り平面  $ABC$  に垂直な直線上に点  $P$  をとり、四面体  $PABD$  をつくる。四面体  $PABD$  の体積が  $\frac{3\sqrt{6}}{4}$  になるとき、 $\cos \angle PAO$  の値を求めよ。
- (配点 20)

【選択問題】 数学 B 受験者は、次の **B4** ~ **B8** のうちから 2 題を選んで解答せよ。

**B4** 2 つの整式  $P(x) = (x-3)(2x+a)$  と  $Q(x) = x^3 - 3x^2 + bx + c$  がある。 $P(x)$  を  $x-1$  で割った余りは  $-6$  であり、 $Q(x)$  は  $x^2+2$  で割り切れる。ただし、 $a, b, c$  は定数とする。

- (1)  $a$  の値を求めよ。
  - (2)  $Q(x)$  を  $x^2+2$  で割った商を求めよ。また、 $b, c$  の値をそれぞれ求めよ。
  - (3)  $k$  を定数とする。 $x$  の方程式  $kP(x) + Q(x) = 0$  の異なる実数解の個数がちょうど 2 個であるとき、 $k$  の値を求めよ。
- (配点 20)

**B5**  $O$  を原点とする座標平面上に円  $x^2 + y^2 - 2ax - 4y + a^2 = 0$  ( $a$  は定数) ……①と点  $A(2, 1)$  がある。

- (1) 円①の中心の座標を  $a$  を用いて表せ。また、円①の半径を求めよ。
  - (2) 点  $A$  を通り直線  $OA$  に垂直な直線を  $\ell$  とする。直線  $\ell$  の方程式を求めよ。また、円①の中心が直線  $\ell$  上にあるとき、 $a$  の値を求めよ。
  - (3) 方程式①で表される円のうち、(2)で求めた直線  $\ell$  と接する円は 2 つある。これら 2 つの円の中心を  $C_1, C_2$  とする。このとき、 $\triangle OC_1C_2$  の面積を求めよ。
- (配点 20)



2011 (78)

**B6** 関数  $y = \sin 2\theta - \sqrt{2}(\sin \theta - \cos \theta)$  があり,  $t = \sin \theta - \cos \theta$  とおく。

- (1)  $\theta = \frac{\pi}{4}$  のとき,  $y$  の値を求めよ。
  - (2)  $t$  を  $r \sin(\theta + \alpha)$  ( $r > 0, -\pi < \alpha \leq \pi$ ) の形で表せ。また,  $\sin 2\theta$  を  $t$  を用いて表せ。
  - (3)  $0 \leq \theta \leq \pi$  とする。関数  $y$  の最大値と最小値を求めよ。また, 最大値をとるときの  $\theta$  の値を求めよ。
- (配点 20)

**B7** 初項  $a$ , 公差  $d$  の等差数列  $\{a_n\}$  があり,  $a_3 + a_7 = 12$  を満たしている。ただし,  $d \neq 0$  とする。

- (1)  $a$  を  $d$  を用いて表せ。
- (2) 3 数  $a_4, a_5, a_8$  がこの順に等比数列になるとき,  $a, d$  の値をそれぞれ求めよ。
- (3) (2) のとき, 和  $S = na_1 + (n-1)a_2 + (n-2)a_3 + \cdots + 1 \cdot a_n$  を  $n$  を用いて表せ。

(配点 20)

**B8**  $\triangle OAB$  があり,  $OA = 3, OB = \sqrt{3}$  である。辺  $AB$  の中点を  $C$ , 線分  $OC$  を  $2:1$  に内分する点を  $D$  とし,  $\overrightarrow{OA} = \vec{a}, \overrightarrow{OB} = \vec{b}$  とする。

- (1)  $\overrightarrow{OC}$  を  $\vec{a}, \vec{b}$  を用いて表せ。また,  $\overrightarrow{OD}$  を  $\vec{a}, \vec{b}$  を用いて表せ。
  - (2) 内積  $\vec{a} \cdot \vec{b} = 2$  のとき, 線分  $OC$  の長さを求めよ。
  - (3) (2) のとき, 点  $D$  から辺  $AB$  に垂線を引き, 交点を  $H$  とする。  $AH:HB = t:(1-t)$  とおくと, 実数  $t$  の値を求めよ。また, 線分  $CH$  の長さを求めよ。
- (配点 20)